

基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
愛知県日進市
【転出元】
愛知県日進市
【前職】
教員・福祉職員
【活動時期】
R4.4～R7.3
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

自分自身が心身のバランスを崩した際、田舎の自然の中での暮らしや移住によって日常を変化させることが心の回復につながった。その経験から、都会で行き詰った人たちや生きづらさを抱える子どもたちの生き方の選択肢を増やせる存在になりたいと考えた。田舎では空き家の問題や人口減少も深刻だと知った。空き家という小さな空間を活用して、社会の大きな枠とは違う拠点をもって人とかかわりたいと考えた。

今後の抱負・任期後の目標

地域に1000ほどあるという空き家を、地域を回りながら発掘したい。移住者の入り口や相談役となり、地域や空き家とのマッチングができるようになりたい。その一例として自分自身も空き家を魅力的な空間によみがえらせて、古い家を活用する魅力を発信したい。休職時のキャリアブレイクとして長期滞在可能な機能や、不登校等さまざまな背景をもつ子どもたちの生活拠点/サードプレイスとなる居場所づくりをしたい。

活動内容

●空き家バンクでの業務

まいばら空き家対策研究会の業務の中で、①移住者を逃さない仕組みづくり②登録物件を増やす③流通していない物件を動かすという課題を見つけ、これからの活動の柱に定めた。③については動きの少ない物件を課題ごとに分類し、どうしたら流通するようになるのか出口検討会を始めることができた。



●空き家活用に向けたDIY技術の習得

空き家をDIYでリノベーションした事例を見学したり、実際に工具を使ってDIYの技術を学んでいる。古民家再生協会によるDIY教室にも参加し、見違えるように変化する古民家の魅力を実感している。自分自身の拠点整備含め、ポロポロで活用が進まなかった空き家の活用の幅が広がるようにしていきたい。



●場づくりの準備

市の学校連携マネージャー・社会福祉協議会・地域にある子どもの居場所の運営者と話し、実際に地域の課題や子どもと触れ合う機会をもらった。参考にしたい地域外のコミュニティも見に行き考えている最中。自分の拠点で取り入れたい要素について知識を得たり、技術習得するために勉強中。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
恋する空き家プロジェクトHP <https://koisuru-akiya.com>

